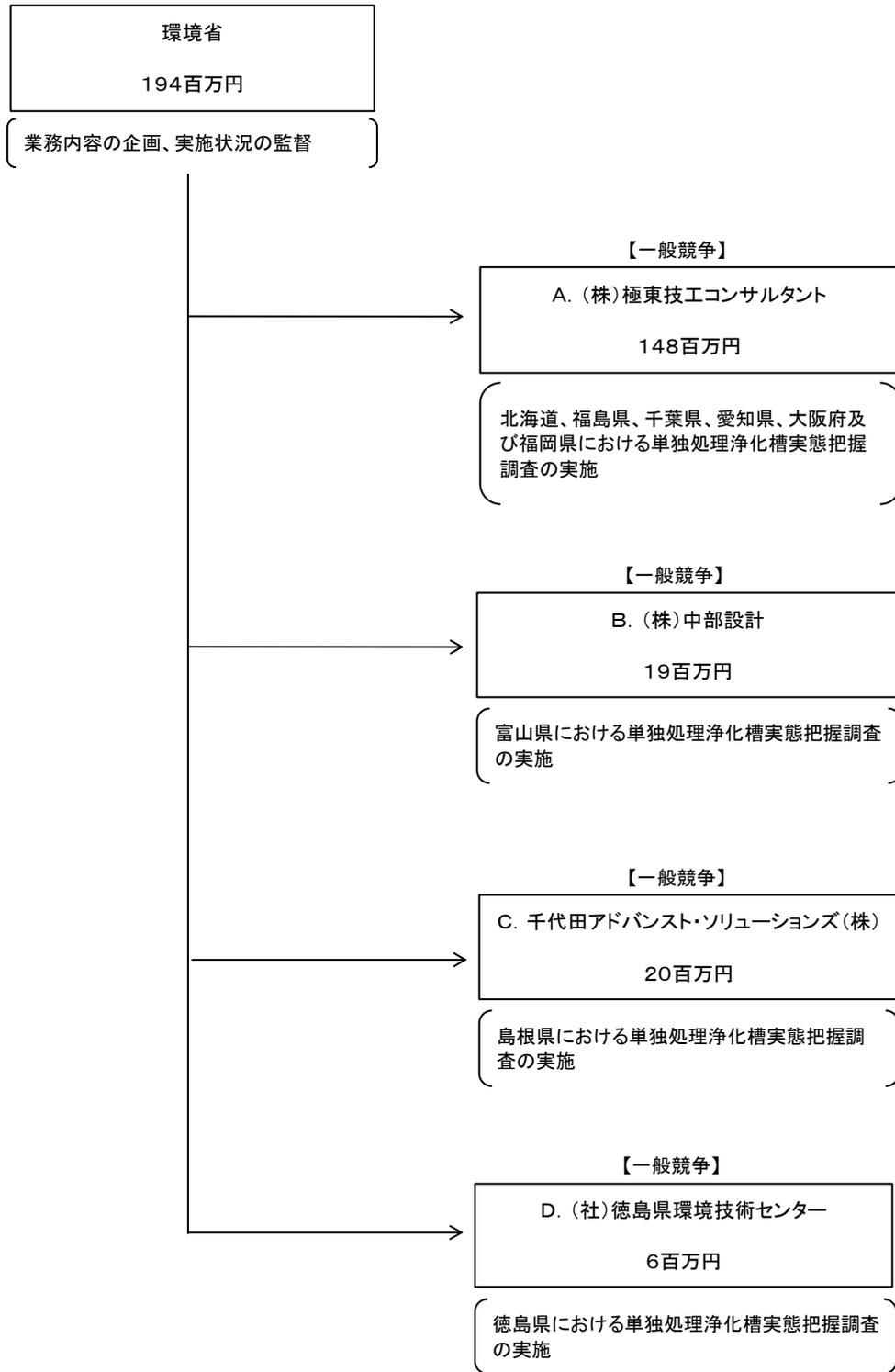


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	単独処理浄化槽を対象とした使用状況実態等把握	事業開始年度	平成21年度		作成責任者	
担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室	浄化槽推進室長 樽林 茂夫		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成12年度の浄化槽法の改正により、単独処理浄化槽の設置が原則禁止されたが、既設の単独処理浄化槽が現在約550万基存在し、その維持管理状況は合併処理浄化槽のそれに比べ十分に把握できていない。また過去に無届で設置された単独処理浄化槽が数多く存在するとされている。本事業の目的はこれら単独処理浄化槽の維持管理・分布について実態を把握するものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	事業を実施するに当たって、事前に都道府県等の自治体に協力の依頼をかけており、浄化槽台帳等自治体保有の情報や指定検査機関、維持管理者の記録等の情報提供を依頼した。本事業では提供された情報の収集・精査を行い、設置状況や維持管理状況が不明な家屋を地図上から抽出し、これらに訪問調査・訪問アンケートを行い実態の把握を行った。					
実施状況	鳥根県、徳島県、富山県等、合計9つの道府県(又はそのうちの自治体の一部)において調査を実施した。調査規模は実施した地域に応じて様々だが、それぞれ数百基から数千基の無届浄化槽の存在や、それまで維持管理状況が不明だった単独処理浄化槽の状況についてアンケート結果を得ている。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	226	—	
	執行額	—	—	194		
	執行率	—	—	86%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	194		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	本事業においては、調査実施件数や調査内容について適宜契約先から報告を受けて進めている。また訪問調査においては写真を添付した報告を基本としており、その実施状況については一定の水準で把握できていると考える。				
	見直しの余地	平成21年度限りの予算				
予算チームの・所見率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	—	—	—			

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。使  
 途と費目の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)極東技工コンサルタント			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (北海道)	1			
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (福島県)	26			
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (千葉県)	29			
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (愛知県)	37			
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (大阪府)	31			
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (福岡県)	24			
計		148	計		0
B.(株)中部設計			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (富山県)	19			
計		19	計		0
C.千代田アドバンスト・ソリューションズ(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (島根県)	20			
計		20	計		0
D.(社)徳島県環境技術センター			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	単独処理浄化槽実態把握調査費 (徳島県)	6			
計		6	計		0